

Press Release

報道関係者各位

2026年7月吉日

シニフィエ

第19回AAF戯曲賞受賞/第69回岸田戯曲賞最終候補の小野晃太郎による2年ぶり新作本公演『百合鷗(ゆりかもめ)』が、すみだ五彩の芸術祭にて9月上演決定！

～「隅田川物」の古典を下敷きに、都市のインフラとなった人々の「生存・共生」を問い直す群像劇～

劇作家小野晃太郎の団体「シニフィエ」は、2026年9月18日(金)・19日(土)の2日間、すみだパークシアター倉(東京都墨田区)にて、新作本公演『百合鷗』を上演いたします。

本作は、第69回岸田國士戯曲賞の最終候補にノミネートされた『ひとえに』@こまばアゴラ劇場(2024年閉館)以来となる待望の新作本公演であり、今年度より新たに開催される「すみだ五彩の芸術祭」の参加作品として制作・上演されます。

■ 古典の情動を受け継ぎ、現代都市の搾取と孤立を描く群像劇

本作は、能の『隅田川』や歌舞伎の『隅田川続俳』『都鳥廓白浪』といった古典作品を現代の視点から翻案した群像劇です。

古典劇に描かれる「拐かし」「盗み」「殺し」といった情動を継承しながら、現代の都市景観を舞台に、トクリュウ(匿名流動型犯罪グループ)や移民問題、孤独と搾取の構造を織り込み、現代都市における生存と共生の条件を問い直します。

「正しく人を使う／使われる」というテーマが解き明かされるにつれ、観客はこれが「今まさにこの都市で生きている自分自身の物語」であるという強烈な当事者性を突きつけられることになります。現代都市をサバイブする全ての人々に向けた、シニフィエの新たな挑戦にぜひご注目ください。



あらすじ

行方不明の我が子を探す葉名は、自助グループに参加しながら 時の流れに思いを馳せている。操舵は緑化された東京で、渡り鳥の生活を思いながら自身の仕事を進めている。海は賢く奔放な人間だ。電車で出会ったののとの親密になったかと思えば、後輩のパートナー、二三と逢瀬を重ねるようになる。仕事、生活、人間は人間を使う。使い、使われる人々は、探し物、仕事、時間と距離、過去の清算について言葉を交わしていく。昔、今、そして永遠の流れ。隅田川物の古典作品を下敷きに描かれる群像劇。

【公演概要】

シニフィエ『百合鷗』

戯曲・演出：小野晃太郎、いっしょに考える人：松岡大貴

出演：金定和沙、菊池佳南、新田佑梨、はぎわら水雨子、原田つむぎ、藤家矢麻刀、堀夏子

会場：すみだパークシアター倉（東京都墨田区横川1-1-10）

公演日程：2026年9月18日（金）19:00、9月19日（土）11:00/16:00（受付開始は開演の45分前、開場は30分前）

チケット料金：一般：3,000円/一般戯曲付：4,000円、割引：2,500円/割引戯曲付：3,500円、U-18：無料（要予約）

※割引：25歳以下、障害者手帳をお持ちの方とその同伴者

※戯曲付チケットの戯曲は、公演当日受付にてお渡し致します（当日も戯曲販売は予定しておりますが、金額は異なります）

※割引チケット及びU-18チケットご購入の方は当日証明書/手帳の提示をお願いします

※車いす席のお客様はチケット購入前に、問い合わせ先にご連絡ください

※車いす席介助者の方1名は無料でお入り頂けます

※その他の情報保障についてはWEB等でご案内いたします

チケット発売日：2026年7月25日（土）

主催：シニフィエ、「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会

共催：「すみだ五彩の芸術祭」実行委員会、墨田区

助成：アーツカウンシル東京〔東京芸術文化創造発信助成（単年助成）〕芸術創造活動

[本件に関するお問い合わせ・取材のお申し込み]

E-mail: signifiertext@gmail.com

公式WEBサイト: <https://www.signifiertext.com/>

公式X(旧Twitter): <https://x.com/signifiertext>

ゲネプロの舞台写真の撮影や、稽古場の見学、作・演出の小野晃太郎へのインタビュー等のご相談も承っております。お気軽にお問い合わせください。